

第 126 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商 業 簿 記

第 1 問(20 点)

	仕				訳			
	借 方 科 目		金 額		貸 方 科 目		金 額	
1	支 払 手 形		200,000		支 払 手 形		200,000	
	支 払 利 息		4,000		現 金		4,000	
2	未 収 金		2,600,000		未 決 算		2,810,000	
	火 災 損 失		210,000					
3	受 託 販 売		150,000		支 払 手 形		150,000	
4	当 座 預 金		116,400		売 掛 金		120,000	
	売 上 割 引		3,600					
5	広 告 宣 伝 費		48,000		本 店		48,000	

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点。

(配点は、当学院の予想です)

第 2 問(20 点)

(1)

決 算 整 理 前 残 高 試 算 表 (一 部)

売 掛 金 (363,000)	買 掛 金 (410,000)
割 賦 販 売 契 約 (105,000)	貸 倒 引 当 金 (3,000)
委 託 販 売 (223,000)	一 般 売 上 (1,201,000)
繰 越 商 品 220,000	未 着 品 売 上 (80,000)
未 着 品 (15,000)	積 送 品 売 上 (431,000)
積 送 品 (80,000)	割 賦 売 上 (800,000)
仕 入 (1,775,000)	割 賦 仮 売 上 (105,000)

(2)

損 益 計 算 書

I 売 上 高	(2,512,000)
II 売 上 原 価	(1,741,500)
売上総利益	(770,500)

1 つにつき 2 点 合計 20 点。

(配点は、当学院の予想です)

第 3 問(20 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金 預 金	235,000		15,000				250,000	
受 取 手 形	90,000			15,000			75,000	
売 掛 金	180,000			10,000			170,000	
売買目的有価証券	122,900		800				123,700	
繰 越 商 品	61,000		63,000	61,000			61,380	
				1,620				
建 物	4,000,000						4,000,000	
備 品	700,000						700,000	
満期保有目的債券	49,850		50				49,900	
株式交付費	6,000			3,000			3,000	
支払手形		70,000						70,000
買 掛 金		160,000						160,000
借 入 金		200,000						200,000
貸倒引当金		9,700	8,000	5,650				7,350
建物減価償却累計額		900,000		100,000				1,000,000
備品減価償却累計額		341,600		71,680				413,280
資 本 金		3,300,000						3,300,000
利 益 準 備 金		82,000						82,000
繰越利益剰余金		179,000						179,000
売 上		2,688,200				2,688,200		
有価証券利息		1,000		50		1,050		
仕 入	1,875,350		61,000	63,000	1,873,350			
給 料	600,000				600,000			
支払保険料	8,280			3,450	4,830			
支払利息	3,120		880		4,000			
	7,931,500	7,931,500						
貸 倒 損 失			2,000		2,000			
貸倒引当金(繰入)			5,650		5,650			
有価証券評価(益)				800		800		
棚卸減耗損			900		900			
商品評価損			720		720			
減価償却費			171,680		171,680			
(株式交付費)償却			3,000		3,000			
(前払)保険料			3,450				3,450	
(未払)利息				880				880
当期純(利益)					23,920			23,920
			336,130	336,130	2,690,050	2,690,050	5,436,430	5,436,430

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

工業簿記

4 問 (20 点)

製造間接費	
間接材料費 800,000	予定配賦額 (3,605,000)
間接労務費 1,571,000	原価差異 8,000
間接経費	
減価償却累計額 (467,000)	
前払保険料 (270,000)	
修繕引当金 (100,000)	
材 料 (40,000)	
現金預金 (120,000)	
未払水道光熱費 (245,000)	
(3,613,000)	(3,613,000)

仕掛品	
月初有高 60,000	完 成 高 (9,000,000)
直接材料費 3,500,000	月 末 有 高 (15,000)
直接労務費 1,400,000	
直 接 経 費 (450,000)	
製造間接費 (3,605,000)	
(9,015,000)	(9,015,000)
製 品	
月初有高 200,000	売 上 原 価 (9,100,000)
完成品原価 (9,000,000)	月 末 有 高 100,000
(9,200,000)	(9,200,000)
売 上 原 価	
製 品 (9,100,000)	月 次 損 益 9,100,000

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第5問(20点)

仕 掛 品			(単位：円)
月 初 有 高	(214,000)	完 成 高	(3,360,000)
直 接 材 料 費	(2,295,000)	月 末 有 高	(450,000)
直 接 労 務 費	(677,000)	標 準 原 価 差 異	(144,000)
製 造 間 接 費	(768,000)		
	(3,954,000)		(3,954,000)

月次損益計算書（一部）		（単位：円）
I 売 上 高		（ 3,960,000 ）
II 売 上 原 価		
月初製品棚卸高	（ 420,000 ）	
当月製品製造原価	（ 3,360,000 ）	
合 計	（ 3,780,000 ）	
月末製品棚卸高	（ 700,000 ）	
差 引	（ 3,080,000 ）	
標準原価差異	（ 144,000 ）	（ 3,224,000 ）
売上総利益		（ 736,000 ）

1 つにつき 2 点 合計 20 点。
(配点は、当学院の予想です)

【2 級解説】

第 1 問

1. 振り出していた手形債務の減少と、新たな手形振り出しによる手形債務の増加が同時に行われる手形の更改取引である。

2. 火災発生時の仕訳

(建物減価償却累計額) 5,040,000 (建物) 8,000,000

(減価償却費) 150,000

(未決算) 2,810,000

$$*1 \quad ¥8,000,000 \times 0.9 \times \frac{14\text{年}}{20\text{年}} = ¥5,040,000 \text{ (取得から前期末までの減価償却額)}$$

$$*2 \quad ¥8,000,000 \times 0.9 \times \frac{5\text{ヵ月}}{240\text{ヵ月}(20\text{年})} = ¥150,000 \text{ (当期期首から8/末までの減価償却額)}$$

3. 荷為替手形の支払いを引き受けたので「支払手形」勘定の増加として処理する。なお、商品の受け取りについては、自身の商品ではないため処理しない。

4. 売上割引額：¥120,000 × 3% = ¥3,600

5. 本店の仕訳

(神戸支店) 48,000 (京都支店) 48,000

京都支店の仕訳

(本店) 48,000 (現金預金) 48,000

第 2 問

平成 22 年 3 月中の取引

(1)

① 商品または貨物代表証の仕入

1. (未着品) 50,000 (買掛金) 50,000

3. (仕入) 180,000 (買掛金) 150,000

(未着品) 30,000

② 掛代金の決済

3. (買掛金) 240,000 (現金) 240,000

4. (現金) 300,000 (売掛金) 300,000

③ 一般販売に係わるもの

4. (売掛金) 280,000 (一般売上) 280,000

④ 未着品販売に係わるもの

2. (売掛金) 40,000 (未着品売上) 40,000

(仕入) 25,000 (未着品) 25,000

⑤ 委託販売に係わるもの

5. (積送品) 150,000 (仕入) 150,000

6. (委託販売) 183,000 (積送品売上) 183,000

(仕入) 160,000 (積送品) 160,000

(現金預金) 140,000 (委託販売) 140,000

$$* \quad ¥210,000 - ¥27,000 = ¥183,000$$

⑥ 割賦販売に係わるもの

7. (割 賦 販 売 契 約)	300,000	(割 賦 仮 売 上)	300,000
(現 金 預 金)	220,000	(割 賦 売 上)	220,000
(割 賦 仮 売 上)	220,000	(割 賦 販 売 契 約)	220,000

⑦ 売掛金の貸倒れ

8. (貸 倒 引 当 金)	7,000	(売 掛 金)	7,000
------------------	-------	-----------	-------

(2) 売上高

一 般 売 上 : $\yen 921,000 + \yen 280,000 = \yen 1,201,000$

未着品売上 : $\yen 40,000 + \yen 40,000 = \yen 80,000$

積送品売上 : $\yen 248,000 + \yen 183,000 = \yen 431,000$

割 賦 売 上 : $\yen 580,000 + \yen 220,000 = \yen 800,000$ 合計 $\yen 2,512,000$

売上原価

(仕 入)	220,000	(繰 越 商 品)	220,000
(繰 越 商 品)	180,000	(仕 入)	180,000
(繰 越 商 品)	73,500 *	(仕 入)	73,500

* 期末割賦金 $\yen 105,000 \times 70\% = \yen 73,500$

期首商品 $\yen 220,000 +$ 当期仕入 $\yen 1,775,000 -$ 期末商品 $\yen 180,000 -$ 割賦 $\yen 73,500 = \yen 1,741,500$

第 3 問

決算整理事項その他

1. 当座預金について

(1) 仕 訳 な し			
(2) (現 金 預 金)	15,000	(受 取 手 形)	15,000

2. 貸倒れについて

(貸 倒 引 当 金)	8,000	(売 掛 金)	10,000
(貸 倒 損 失)	2,000		

3. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	5,650 *	(貸 倒 引 当 金)	5,650
-------------------	---------	---------------	-------

* 受取手形期末残高 : $\yen 90,000 - \yen 15,000 = \yen 75,000$

売掛金期末残高 : $\yen 180,000 - \yen 10,000 = \yen 170,000$

$\therefore (\yen 75,000 + \yen 170,000) \times 3\% - (\yen 9,700 - \yen 8,000) = \yen 5,650$

4. 売買目的有価証券の評価替について

(売 買 目 的 有 価 証 券)	800 *	(有 価 証 券 評 価 益)	800
---------------------	-------	-------------------	-----

* 簿価総額 : $\yen 122,900$ (前 T/B の売買目的有価証券より)

時価総額 : $\yen 56,500 + \yen 67,200 = \yen 123,700$

$\therefore \yen 123,700 - \yen 122,900 = \yen 800$ (評価益)

満期保有目的債券について

(満期保有目的債券)	50 *	(有価証券利息)	50
------------	------	----------	----

$$* (\text{¥}50,000 - \text{¥}49,850) \div 3 \text{ 年} = \text{¥}50$$

5. 売上原価の算定について

(仕入)	61,000	(繰越商品)	61,000
(繰越商品)	63,000 ^{*1}	(仕入)	63,000
(棚卸減耗費)	900 ^{*2}	(繰越商品)	1,620
(商品評価損)	720 ^{*3}		

$$*1 \quad 700 \text{ 個} \times @ \text{¥}90 = \text{¥}63,000$$

$$*1 \quad (700 \text{ 個} - 690 \text{ 個}) \times @ \text{¥}90 = \text{¥}900$$

*2 帳簿価額より正味売却価額(時価)が高いときは、評価替えの必要はない。

$$(@ \text{¥}90 - @ \text{¥}72) \times 40 \text{ 個} = \text{¥}720$$

6. 減価償却について

(減価償却費)	171,680	(建物減価償却累計額)	100,000 ^{*1}
		(備品減価償却累計額)	71,680 ^{*2}

$$*1 \quad \text{既 存 分} : \text{¥}3,000,000 \times 0.9 \times \frac{12 \text{ カ月}}{360 \text{ カ月 (30年)}} = \text{¥}90,000$$

$$\text{期中取得分} : \text{¥}1,000,000 \times 0.9 \times \frac{4 \text{ カ月}}{360 \text{ カ月 (30年)}} = \text{¥}10,000$$

$$*2 \quad (\text{¥}700,000 - \text{¥}341,600) \times 20\% = \text{¥}71,680$$

7. 繰延資産について

(株式交付費償却)	3,000 *	(株式交付費)	3,000
-----------	---------	---------	-------

* 前期末に 1 年分は償却済みである。

$$\text{¥}6,000 \div (3 \text{ 年} - 1 \text{ 年}) = \text{¥}3,000$$

8. 支払保険料について

(前払保険料)	3,450	(支払保険料)	3,450
---------	-------	---------	-------

$$* \quad \text{¥}8,280 \times \frac{5 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = \text{¥}3,450$$

9. 支払利息について

(支払利息)	880	(未払利息)	880
--------	-----	--------	-----

第 4 問

各取引の仕訳は以下のとおりであり、1～6 は間接経費、7～8 は直接経費である。

1.	(製 造 間 接 費)	467,000	*1	(減 価 償 却 累 計 額)	467,000
2.	(製 造 間 接 費)	270,000	*2	(前 払 保 険 料)	270,000
3.	(製 造 間 接 費)	100,000		(修 繕 引 当 金)	100,000
4.	(製 造 間 接 費)	40,000	*3	(材 料)	40,000
5.	(製 造 間 接 費)	120,000		(現 金 預 金)	120,000
6.	(製 造 間 接 費)	245,000	*4	(未 払 水 道 光 熱 費)	245,000
7.	(仕 掛 品)	200,000		(外 注 加 工 賃)	200,000
8.	(仕 掛 品)	250,000		(特 許 権 使 用 料)	250,000

*1 5,604,000 円 ÷ 12 ヲ月 = 467,000 円

*2 810,000 円 ÷ 3 ヲ月 = 270,000 円

*3 840,000 円 - 800,000 円 = 40,000 円

*4 測定経費は測定額が消費額となる。

その他不明金額の推定

製造間接費勘定の予定配賦額：貸借差額より 3,605,000 円

仕掛品勘定の完 成 高：売上原価勘定および製品勘定の貸借額から完成品原価 9,000,000 円が判明する。

月末有高：貸借差額より 15,000 円

第 5 問

当月生産データ(()内は完成品換算量)

仕 掛 品		製 品	
月初 100個(40個)	完成 1,200個	月初 150個	販売 1,100個
投入 1,300個 (1,260個)	月末 200個(100個)	完成 1,200個	月末 250個

仕掛品勘定

月 初 有 高：@1,700 円 × 100 個 + (@ ¥500 + @ ¥600) × 40 個 = 214,000 円

直接材料費：2,295,000 円

直接労務費：677,000 円

製造間接費：768,000 円

パーシャル・プランのため、いずれも実際額を記入する。

完 成 高：@2,800 円 × 1,200 個 = 3,360,000 円

月 末 有 高：@1,700 円 × 200 個 + (@ ¥500 + @ ¥600) × 100 個 = 450,000 円

標準原価差異

標準消費額：@1,700 円 × 1,300 個 + (@ ¥500 + @ ¥600) × 1,260 個 = 3,596,000 円

実際消費額：2,295,000 円 + 677,000 円 + 768,000 円 = 3,740,000 円

原 価 差 異：3,596,000 円 - 3,740,000 円 = 144,000 円(不利(借方)差異)

損益計算書

売上高：@3,600 円 × 1,100 個 = 3,960,000 円

月初製品棚卸高：@2,800 円 × 150 個 = 420,000 円

当月製品製造原価：仕掛品勘定の完成高より 3,360,000 円

月末製品棚卸高：@2,800 円×250 個＝700,000 円

標準原価差異：仕掛品勘定の標準原価差異より 144,000 円